



令和元年度 沢地小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月23日（水）に開催された「令和元年度沢地小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日のご発言やご意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

なお、アンケートに記載してありました『地域支え合い会議』のご案内につきましては、地域包括ケア推進課より送付いたします。

■開催概要■

日 時	令和元年 10 月 23 日（水） 19:00～20:45		
会 場	市民体育館		
参加団体	富士ビレッジ自治会 千枚原町内会 光ヶ丘1丁目町内会 富士見台自治会 交通安全母の会	光ヶ丘保育園 沢地幼稚園 沢地小学校 沢地小学校 PTA 北中学校	交通指導員会 光ヶ丘白光会 三島市社会福祉協議会 地域包括支援センター 出席者:14名

■次第■

19:00

開会・市長あいさつ

1 「コミュニティ連絡会について」

2 「各団体からの情報発信」

3 「現在の状況と事例発表」

4 「ワークショップ」

5 「アンケート記入」



20:45

市長あいさつ・閉会

「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」のまとめ

今回の連絡会の全体のテーマである「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる地域の未来のために～」を元に「三世代交流・居場所の活用」及び「見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに意見交換をしました。

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。

	三世代交流・居場所の活用
	見守りのある地域づくりに向けて



■グループ別のまとめ

1グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

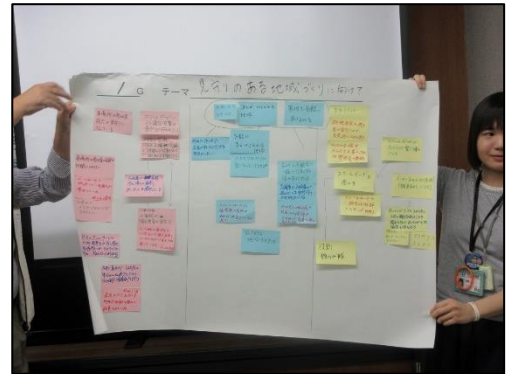
- 小学生の登下校の見守りをスクールガードが担っているが、そうでない場所もある。
- 以前より人とのつながりが取りづらい。
- 地域コミュニティが希薄化している。

■理想の目指す地域

- 誰もがつながる地域。
- 男性はコミュニティ入りづらいことが多いので、気軽に入れるようなコミュニティづくり。
- 小学校以外で子どもと高齢者がつながることができる。

■具体的なアイデア

- 交流イベントの開催
- スクールガードを増やし、担う場所を増やす。
- お茶を飲んだり、お菓子を食べる場所を作る。
- インターネットを活用し、顔見知りになる。
- あいさつができるような地域を目指し、あいさつによってつながりを持つことができる。



2グループ

テーマ:見守りのある地域づくりに向けて

■地域の情報を共有

- 良い点：自然環境が整っている。
見守り体制が作られている。
- 悪い点：少子化の進行。
集う場所がない。

■理想の目指す地域

- 子どもたちが戻ってきてもらえる地域。
→働く場所の提供
- 多世代が触れ合うことができる。
- 向こう三軒両隣。

■具体的なアイデア

- 自然を生かした触れ合う場面を作る。
- 「ホテルの里」として整備し、発信していく。これは他にはないいいところ。



■地域の情報を共有

- 地域の居場所づくりが活発。
- 見守りやスクールガードが活動的。
- 千枚原では「千枚原千寿会」と「子ども会」が交流している。
- 富士ビレッジではホットカフェを開き、子どもたちが太陽光でゆで卵の実験を行った。

■理想の目指す地域

- 組織をどうつなげるかが重要。
- いわゆるおやじ世代をどうコミュニティに入れ込むか。
- 中学生のボランティアが盛んなので、彼ら世代もどう入れるか。

■具体的なアイデア

- どの世代も参加できるような企画、イベントの開催。
例えば祭りや趣味の会、引継会などで交流を深める。

